

Case Study

CUSTOMER INTERVIEW

Vol. 5

2015.3.25



JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 様

手術部門管理システム「JSA/AE with ERGA」で医療現場のIT化を推進

麻酔科 部長

田島 英雄 先生

地域のクリニックと連携し、地域密着・地域完結の医療サービスを提供する伊勢原協同病院。院内業務の電子カルテ化をはじめ、従来より積極的にIT投資に取り組み、2014年8月の新病院開院に伴い手術部門管理システム「JSA/AE with ERGA」を導入いただきました。今回は病院にとってのIT活用について、お話を伺いました。

——手術部門管理に関連する業務をシステム化するに至った経緯について教えてください。

以前は麻酔記録を全て手書きで作成していたため、作成する担当医や看護師によって記載内容や体裁にバラつきがありました。医薬品名に一般名と医学名が混在したり、縦書きと横書きが混在するといった状況です。このやり方ですと、作成者以外の方が理解するのに苦労するだけでなく、情報の抜け漏れが発生する可能性がありました。また、手術室の予約状況・内容・緊急度・担当スタッフの割り当てといった手術に係る一連の情報も全て紙で管理していたため、日々煩雑な作業に追われるばかりでなく、患者情報の確認や関係者間での情報共有に時間がかかるのが業務上の障壁となっていました。

このような課題認識が現場で段々と強まってきたことと、新病院開院に伴って業務の電子カルテ化を推し進める院内方針と重なり、システム化に至りました。

——ITの活用によって業務でどのような変化がみられましたか？

麻酔記録を入力する際に必須項目を設けたため、情報の抜け漏れがなくなり、統一されたレイアウト画面で情報を一元的に管理できるようになりました。そのため、自分が直接会っていない患者さんの情報もすぐに把握できます。更に電子カルテと連携させて必要な情報や数値を自動で取得できるため、情報を二重で入力・管理する手間がなくなりました。手作業による記述

ミスリスクを低減できたのは大きな変化でした。

また、手術に係る一連の情報管理をシステム化したことで、患者情報の確認や情報共有といった日々の業務時間の短縮にも繋がったと実感しています。

——SSTの「JSA/AE with ERGA」導入を決断された理由は何ですか？

一番の決め手はシステムの使いやすさです。表示画面の見やすさやタッチパネルで簡単に操作ができる点など、システムを操作する側の視点で色々な配慮がなされていると感じます。





医療機器の中央管理を実施しているMEセンターの皆さん。

“システムを活用することで患者さんにより良い医療サービスを提供したい。それがスタッフ全員の想いです。”

システムを導入する前は、ITに詳しいわけではない医師や看護師がちゃんと使いこなせるか不安でしたが、この不安はすぐに解消されました。想定より早く現場に浸透したのは、はじめて操作する人でも“とりあえず使ってみよう”という気にさせてくれる画面仕様であったからこそですね。

他にも、出力される帳票類の見栄えが手書きの感覚に近いといった点も、我々にとって馴染み易いものになっている理由の1つです。

——導入後の運用面についてはいかがですか？

稼働後は大きな混乱やトラブルもなく、現場はすぐにシステムの利用に慣れることができました。システムを導入する前に、医師や看護師、MEセンターの担当者がシステム開発者と何度も打ち合わせをし、納得のいくまで仕様や要件について話し合う時間を持つことができたからだと思います。

メンテナンスについても、SSTさんに丁寧に対応していただいています。保守対応における見積算出の根拠が明確で、それをきちんと説明していただけているので、安心してお任せできますね。

お客さまプロフィール



病院名：JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院

病院長：高畑 武司

所在地：神奈川県伊勢原市田中 345

病院開設日：昭和 43 年 4 月 1 日

診療科目：内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・小児科・外科・消化器外科・肛門外科・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・精神科・麻酔科・放射線科・臨床検査科・リハビリテーション科・病理診断科・緩和ケア内科

病床数：350床

URL：http://www.iseharahp.com

——医療現場の IT 化を進めるにあたって、最も重要視されているのは？

患者さんの安全を確保できるかという点です。業務の効率化や標準化も重要ではありますが、私たち病院の使命は患者さんを守ることです。当然、医療現場の最前線で様々な情報を取り扱うシステムも、患者さんの安全確保が最優先されなくてはなりません。それを満たした上で業務や経営の効率化に活用することが、病院経営に求められる IT ではないでしょうか。更にその先には、IT 化によって診断のスピードアップや手術の安全性向上など、結果的に患者さんにより良い医療サービスを還元できるものでなくてはならないと考えています。今後は「JSA/AE with ERGA」導入によって効率化した業務プロセスを PDCA サイクル化し、蓄積したデータを活用することで、更なる安全と病院経営の効率化に努めたいと考えています。

そのためにも SST さんにはこれらをサポートする製品の開発や新たな提案を期待しています！



取材にご協力いただいた医師・看護師の皆さん。

手術部門管理システム「JSA/AE with ERGA」とは

日本麻酔科学会による JSA 麻酔台帳システムをベースに、麻酔情報管理と手術情報管理の機能をそなえた、全面 Web システムです。学会報告や病院情報システム「HIS」とのシームレスな連携を可能にし、医療現場における実績入力負荷の大幅軽減や、正確な情報蓄積・情報活用を省コストで可能にします。

鈴与システムテクノロジー株式会社 [略称 SST]

〒424-0888 静岡県清水区中之郷 2-1-5 鈴与信息センタービル <http://www.sst-web.com/>

*情報は平成 27 年 3 月現在

◆本システムに関するお問合せ◆

iryoy@sst-web.com